



静岡県交通基盤部

～建設産業の仕事とは？～

静岡県交通基盤部 建設政策課



～ いっしょに、未来の地域づくり。～



静岡県交通基盤部



静岡県職員約7,000人のうち

交通基盤部 約1,300人 { 事務 約400人
技術 約900人

〔本庁〕
6局26課

〔出先〕
8土木事務所
4特設事務所

➤ 政策管理局：政策、広報、予算、人事

➤ 建設経済局：発注、用地、技術指針

➤ 道路局：道路建設、道路管理

➤ 河川砂防局：河川、海岸、砂防

➤ 港湾局：港湾、漁港、ポートセールス

➤ 都市局：都市計画、公園、下水道、地域交通



静岡県 交通基盤部の機関 位置図

交通基盤部関係機関位置図
(土木事務所所管区域図)

令和7年4月1日現在

凡 例	
◁○▷	県 界
-----	市 町 界
——	土木事務所所管界
●	土木事務所
◎	特設事務所
○	支所・支局・分庁舎等





交通基盤部の役割



「インフラ」って？





お手伝いできることはありますか？

「インフラ」とはなにか教えてください。

+ ⓘ ツール





交通基盤部の役割



「インフラ」とは、「インフラストラクチャー（Infrastructure）」の略で、**社会や経済活動を支える基盤**となる仕組みや設備のことを指します。個人の日常生活や企業の経済活動、行政の運営など、あらゆる面で必要不可欠なものです。



～ いっしょに、未来の地域づくり。～

静岡県交通基盤部





交通基盤部の役割



インフラの具体例

インフラには以下のような種類があります：

1. 物理的インフラ（ハードインフラ）

- 交通インフラ：道路、鉄道、空港、港など
- 通信インフラ：インターネット、携帯電話基地局、光ファイバーなど
- エネルギーインフラ：電力網、発電所、ガス管、水道など
- 上下水道やごみ処理施設：生活に必要な衛生環境を支える設備

2. 制度的インフラ（ソフトインフラ）

- 法律・制度・ルール：社会が秩序立って機能するための仕組み
- 教育・医療制度：人材育成や健康を守るための基盤
- 金融システム：銀行、証券取引所、保険など経済活動の基盤





交通基盤部の役割



想像してみてください

もし、

- 買い物に行きたいのに、道中の橋が壊れて通れなくなっていたら。。。
- 大雨の時に、家の近くにある川に堤防がなかったら。。。

- **インフラは、県民の安全・安心の確保や社会経済活動の基盤となるものであり、県民の生活に必要不可欠なもの。**

**NO INFRA,
NO LIFE !**

～ まいにち、インフラ ～

静岡県では

インフラの整備・維持管理
を通じて・・・

**県民が豊かで
安全な暮らしが
実感できる県土**

Happy!



～ いっしょに、未来の地域づくり。～

静岡県交通基盤部



道路 ～人・車の流れをスムーズに～



渋滞の様子



【完成予想図】



～ いっしょに、未来の地域づくり。～

静岡県交通基盤部



道路 ～人・車の流れをスムーズに～



法面の崩落



工事完成后





河川 ～洪水から命を守る～



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部





河川 ～洪水から命を守る～



護岸の整備



ダムの整備





砂防(さぼう) ～土砂災害から命を守る～



土石流





砂防(さぼう) ～土砂災害から命を守る～



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部



海岸 ～津波から命を守る～



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部



港の整備 ～人や物を呼び込む～



港の整備 ～人や物を呼び込む～



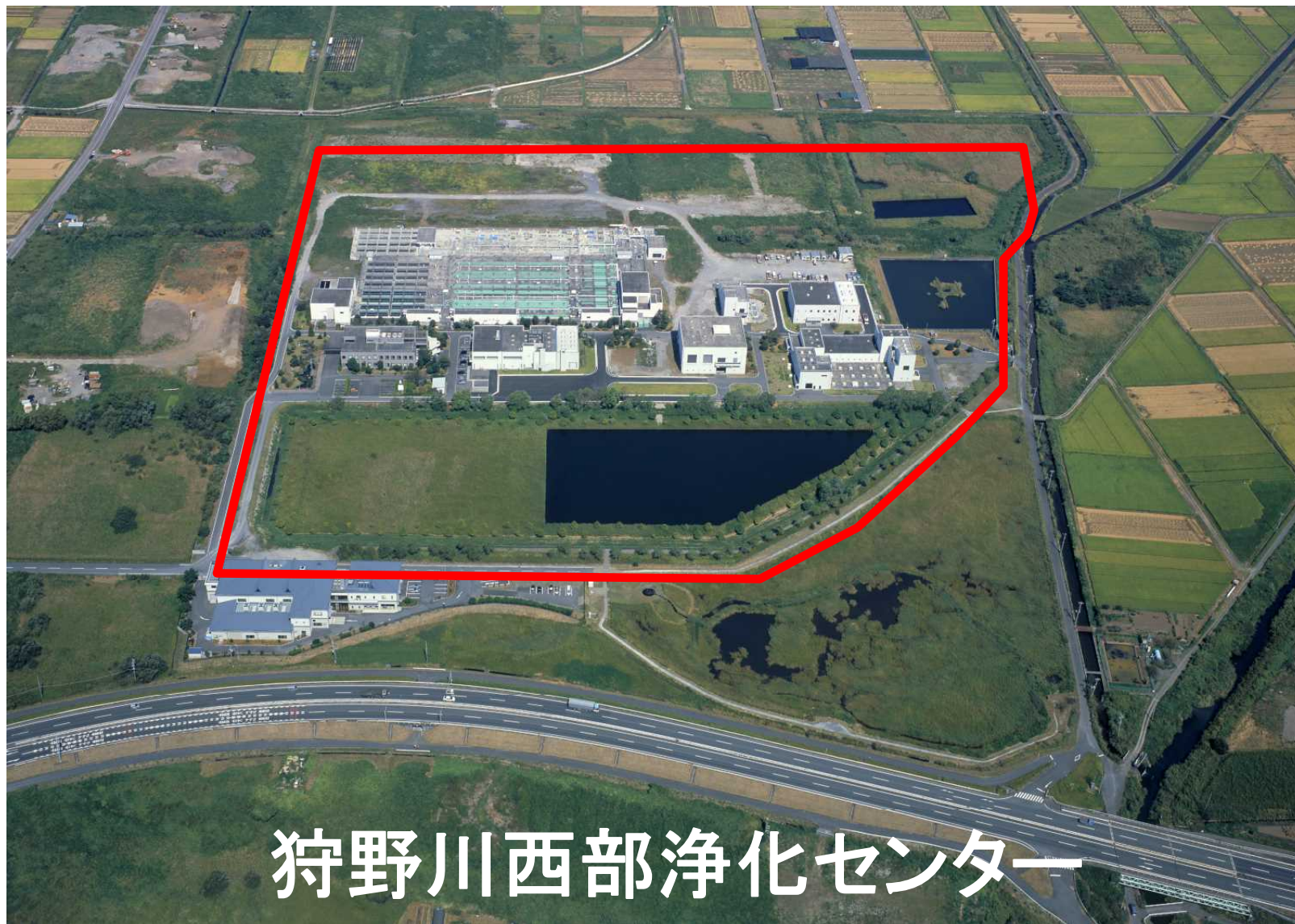
富士山が見える清水港は
海外の方にも大人気！

都市 ～公園・競技施設の整備～





都市 ～生活排水の処理・水質保全～



狩野川西部浄化センター





災害復旧 ～元のくらしを取り戻す～



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部





インフラ整備の役割分担



【行政】国・県・市町



監督
維持管理

設計

施工



【民間】コンサルタント

【民間】施工業者

～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部





インフラ整備の流れ



事業計画検討

測量や設計業務の
発注、監督

用地交渉
用地取得

工事発注
監督

工事完成



21

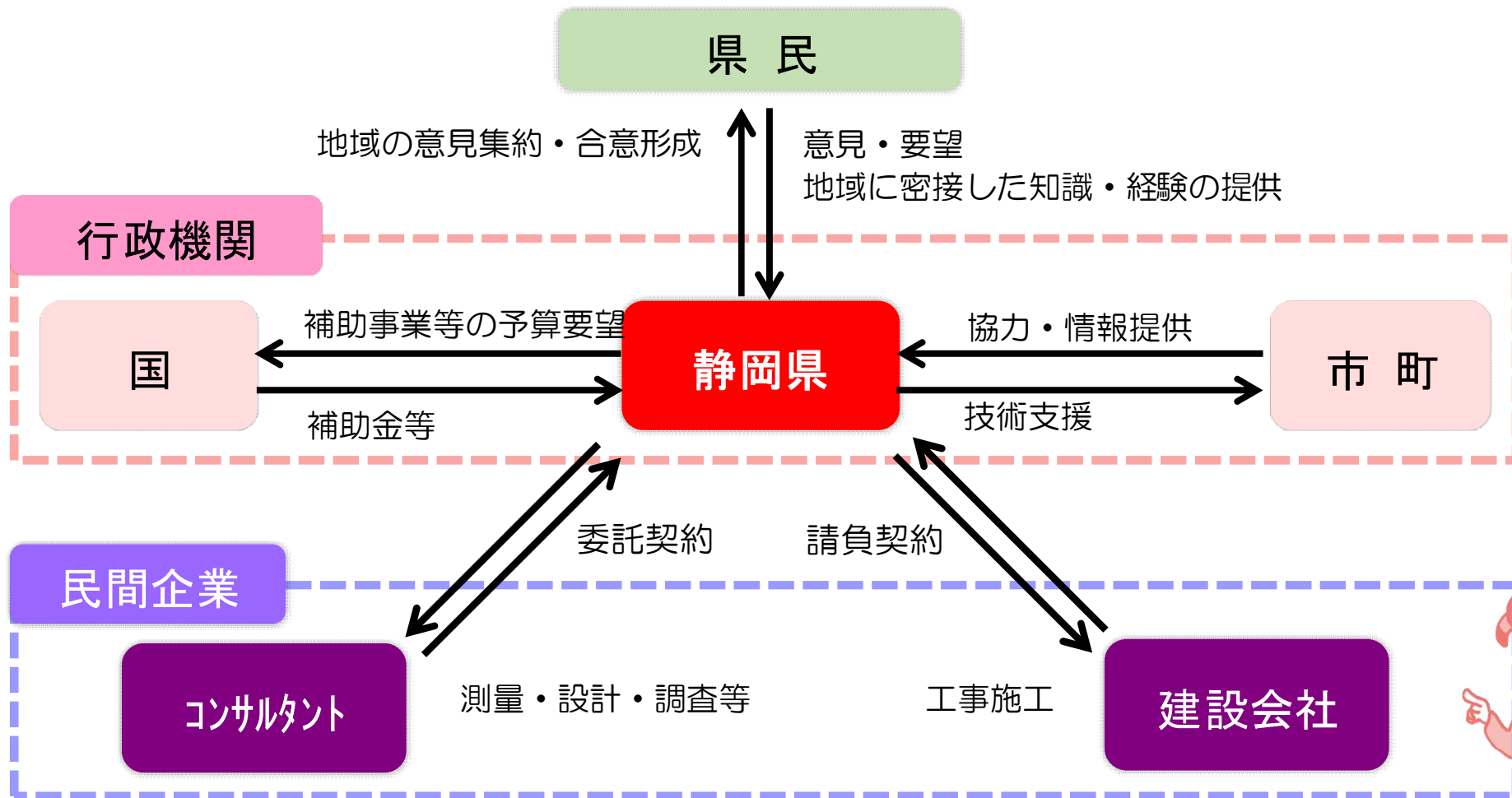
～ いっしょに、未来の地域づくり。～

静岡県交通基盤部





静岡県の立ち位置



～ いっしょに、未来の地域づくり。～

(注)この図はイメージであり、静岡県では異なる場合があります。



交通基盤部が直面する課題



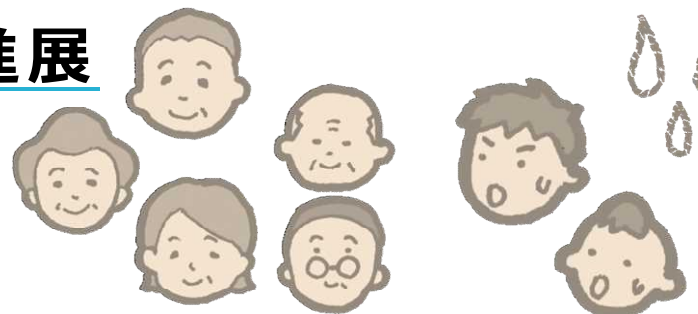
1. 自然災害の激甚化・頻発化



2. インフラの老朽化の加速



3. 人口減少・少子高齢化の進展



～ いっしょに、未来の地域づくり。～

静岡県交通基盤部





1. 自然災害の激甚化・頻発化



令和6年7月 県道静岡焼津線 浜当目トンネル



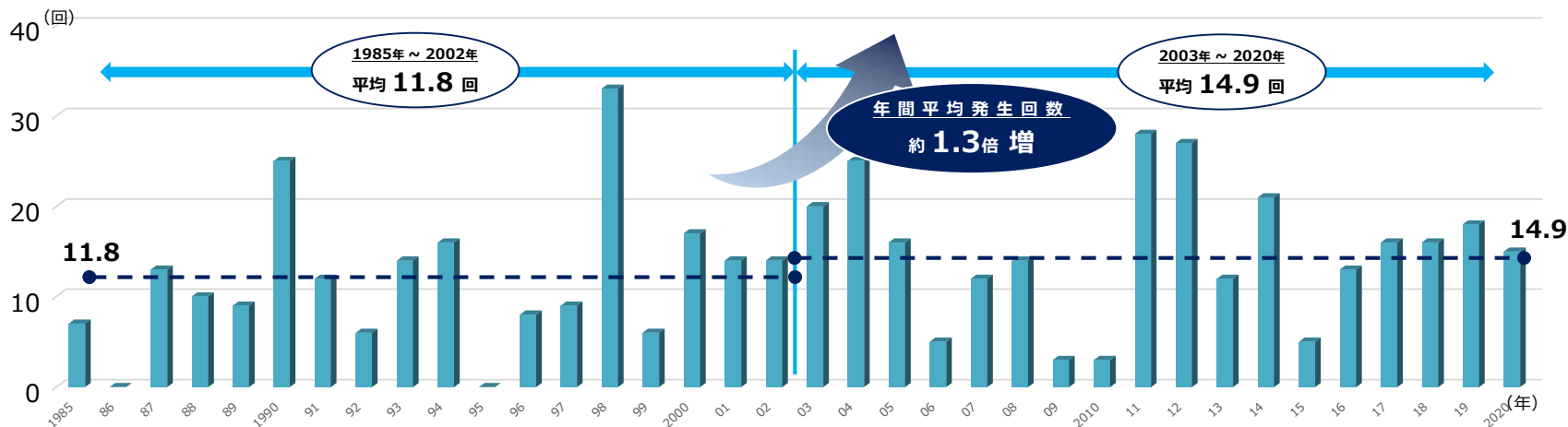


1. 自然災害の激甚化・頻発化



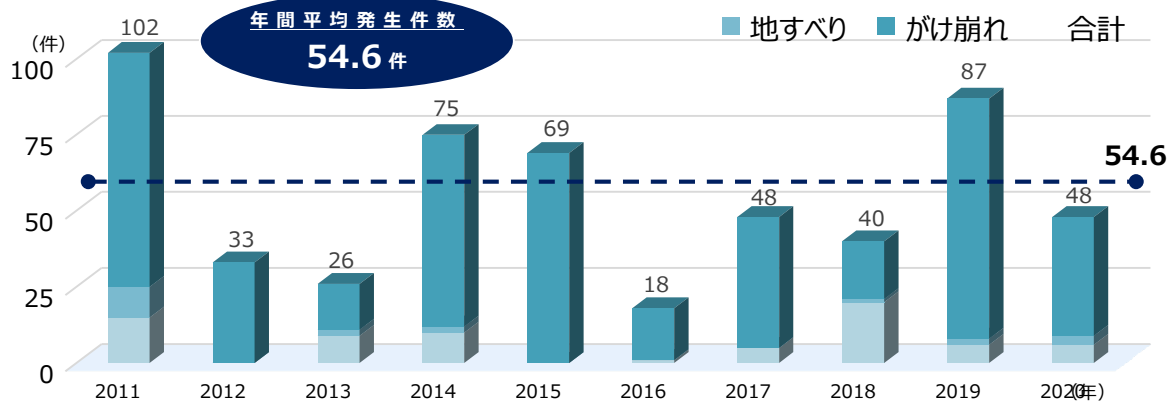
静岡県内の短時間強雨※の年間発生回数

※ 1時間雨量 50mm以上



静岡県河川企画課資料をもとに作成

静岡県内の土砂災害の年間発生件数



静岡県砂防課資料をもとに作成

～ いっしょに、未来の地域づくり。～

静岡県交通基盤部





2.インフラの老朽化の加速



2012年12月 中央自動車道（上り）笹子トンネル
天井版が落下 死者9名、負傷者2名



事故当時、
完成から
38年経過





3. 人口減少・少子高齢化の進展



【つくる・まもることが
できる人が少なくなる問題】



もし、
いなくなったら？





3. 人口減少・少子高齢化の進展



地震・災害発生



道路損傷



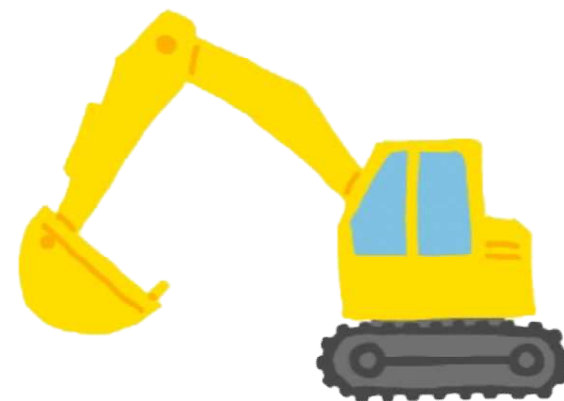
孤立・物資の不足



建設産業の職人による応急処置
(土砂撤去など)



道路が通行可能に
警察・自衛隊などの救援活動につながる





まとめ



★建設産業は「社会インフラ」をつくる、
生活に欠かせない重要な仕事

★建設産業は様々な人と協力する、
チームワークが大切な仕事



～いっしょに、未来の地域づくり。～





ご清聴ありがとうございました